



### ワカモノの元気を復興地に、社会に届けたい!

東日本大震災から6年、そして4月には熊本で大きな地震が発生しました。『私たちにできることはなにか』と考え、関西で支援の輪を広げたり防災を伝えてきました。また、夏休みを利用して若者限定の熊本ボランティアバスを運行することで、現地での活動も行いました。

たくさんの方にご支援いただき、『私たちにできること』を実行することができました。感謝の気持ちを忘れず、これからもワカモノだからこそできる活動をしていきます!

### ワカボラネット

東日本大震災の月命日である11日にメールを配信しました。その日だけでも、このメールを読む時間だけでも、震災について意識を向けてもらえたと思います。

### サンデーロボット ～避難家族支援活動～

関西へ母子避難されている方々の交流会に参加し、子どもたちと思いっきり遊びました。体を動かして自由に遊ぶことで、日ごろのストレスや我慢を発散してくれていると嬉しいです。



### 緊急支援活動

4月に発生した熊本地震、9月に発生した台風10号に対して募金活動を行いました。

熊本地震への募金活動にていただいた寄付金は、ワカモノチカラのボランティアバス運行費にさせていただきました。また、台風10号への募金活動にていただいた寄付金は、現地で活動する学生団体へ寄付させていただきました。

### 防災アカデミー～1泊2日の防災キャンプ～

オークタウン加西で16名の子どもたちと一緒に1泊2日のキャンプを行いました。1日目は防災や東日本大震災について学び、避難所にある物で一人一人工夫した防災グッズを作成しました。夜は体育館に段ボールを敷いて就寝し避難所生活を体験しました。2日目は竈作り・火起こしも自分たちで行い、試行錯誤しながら美味しいご飯を炊きました。2日間を通して、避難生活の大変さ、また地域の人たちとの繋がりの大切さを学びました。

### あんだんて～被災者生活支援活動～

今年度は計14カ所のイベントでブースを出展し、東北のお母さん方手作りのミサンガなどを販売しました。また、子どもを対象に防災クイズを出題する活動も行いました。販売活動の際には、東北の現状や商品に込められた思いを伝えることで一人でも多くの方が東北を思い出すきっかけづくりを行いました。また、防災クイズは、家族みんなで防災について考えるきっかけにしてほしいと思います。

### 第6回学生未来フォーラム

『南海トラフがやってくる!～その時発揮できるワカモノチカラ～』というテーマのもと、防災士さんを講師としてお招きし、「普段から災害支援にかかわっている若者だからこそ、いざ被災した時何ができるか」について考えました。被災することは他人事ではなく、いざという時のために心や物の準備がどれだけ大切か痛感しました。



### 子ども防災パーク～守れ!みんなの命～

子どもたちに楽しみながら防災を学んでほしいと思い、開催しました。御影クラッセにて開催し、約500名の方に参加していただきました。

今年は、「体験型」を大切にし、災害支援や防災啓発を行う補他の団体にもブースを出展していただくことで、様々なアプローチから防災を学ぶことができたと思います。







### 熊本ボランティアバスプロジェクト

8月26日(金)～8月29日(日)、熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクトの助成金(ひょうごボランタリープラザ)や街頭募金でいただいた寄付金でボランティアバスを運行しました。ワカモノチカラスタッフ6名と一般公募で募集した若者20名で活動してきました。

### 熊本1日目

午前中、一部のメンバーは立野病院の資料の運び出しのお手伝いをしました。立野地区は阿蘇の中でも特に被害の大きかった地域のうちの1つです。壊れたままの家から見えるキッチンや生活用品が、確かにそこに日常があったと感じさせ、言葉にすることができませんでした。午後からは、阿蘇YMCA主催のお祭りのお手伝いをしました。地域の方の笑顔が見られて、逆に私たちが元気をもらいました。たくさんの被害があり、辛い中でも、お祭りの間の地域の皆さんは本当に楽しそうでした。車帰の皆さんの地域の方同士の絆の強さを感じました。少しでも多くの方が楽しい時間を過ごせればうれしいです。



### 熊本2日目

JA阿蘇にて、トマトの仕分けのお手伝いをさせていただきました。地震の影響で従業員が減り、残された従業員のみなさんは毎晩夜遅くまで仕分けの作業に追われているそうです。このように、地震の被害にも様々な形があることを初めて知りました。そして、帰りは兵庫へ向かう前に益城町により、車内から被災の様子を見学しました。1本道路を進むだけで景色が大きく変わり、地震の被害の大きさを改めて感じました。



### 事後研修

「バスに乗っただけで終わりではなく、この経験が参加者の熊本支援のきっかけになってほしい」という思いで、熊本へ行ってから約3週間後に神戸で事後研修を行いました。これからも、熊本について考え感じ共感できる人でい続けます！

